

開館1周年

ネーティブ！

歴史と未来の交流館



東

海村の生涯学習の拠点施設として建設された歴史と未来の交流館が、7月24日、開館から1周年を迎えました。1年間で延べ約3万5000人の皆さんにご来場いただき、さまざまな交流やにぎわいなどが生まれる場となりました。

開館1周年を記念して、7月23日・24日に開催されたイベントでは、ニーススポーツ体験や身近な材料を使った工作、ミュージックフェスタなどが行われ、子どもから年配の方まで楽しむ姿が見られました。中でも、3000万年前のサメの歯の化石を探す体験では、用意された3種類のサメの歯のそれぞれの特徴を聞き、全ての種類を見つけようと夢中に取り組む多くの子どもたちの姿が見られました。

記念イベントの中で、館長は「こんなに多くの皆さんに、歴史と未来の交流館の開館1周年を祝福してもらい、とてもうれしく思っています。皆さんにとってさらに身近で、親しまれる施設となるよう努めていきたいです」と話していました。



学ぶ を育む場所



＼ 村の歴史に関する貴重な資料の展示！ ／

9月30日(金)まで公開！

「絵図から見る
真崎浦の干拓」



開館1周年に併せて始まった企画展です。今から100年以上前に、真崎浦が湖だったことを示す貴重な干拓絵図を初公開しています。まだご覧になっていない方は、この機会にぜひ交流館へ足を運んでみませんか。



開館1周年記念イベントの参加者にインタビュー！

歴史と未来の交流館ってどうですか？

お話を伺ったのは、村内に住む藤田さんご家族。案内チラシを見て、面白そうなイベントを見つけては来館されているそうです。特に印象に残っているのは開館記念の際に特別展示された「東海村時空マップ」で、床面に投影された地図の上に立つとハイスピードで動く映像に、お子さんたちがとても興味を持っていたとのことでした。これからも家族そろって、交流館で開催されるイベントに参加したいと話してくれました。

